

事業報告書

2015年度
＜平成27年度＞

慈愛園老人ホーム
慈愛園ケアハウス
慈愛園老人ホーム訪問介護事業所

[養護老人ホーム 事業報告]

1、27年度 施設運営総括

平成27年度、本年度も入居者の方々のニーズに的確に応え続けるため、機能の維持向上を図り、安穏な生活をしていただき、その人がその人らしく明るく生きがいのある生活を達成されるよう、援助・介護によって自立した日常生活・社会生活へ繋げる支援をするため、職員一丸となり精一杯努めた。

1、一人ひとりが安心して過ごせるように、それぞれの職種の持てる力を活かし、調整・連携・支援を行った。

法人の方針により職員の施設人事異動が8月に行われ事務職、相談員の交替があった。また、年度末には調理員1名、支援員1名、計2名退職、内、調理員はすぐに補充を行った。看護師が安全衛生・感染症対策を進めていき、支援員が入居者に寄り添い頼られる存在として、相談員は各職種間や外部関係の調整を行い、調理関係は毎日の食の楽しみを提供した。10月に結核の疑いにて一人が罹患、3月にインフルエンザで1名が罹患、いずれも入院先ではあったが、全職員が職種を問わず施設内の衛生保持と入居者への対応を一体的に行った。

2、入居者が安全に暮らせる施設環境の実現に向けて努めた。

要介護認定者が現在の入居者68名の6割以上の43名となり、施設内の環境によるケガなどでADLが低下しないことを求めた。ベッドやイスから立とうとした際の転倒・しりもちなど、体を動かす際に発生するため、環境だけでなく、体操等で入居者の筋力維持に向けて働きかけてきた。

環境の工夫と、入居者各自の意識付の両面から、安全な暮らしを求めつつ、ラウンジや出入り口での段差による転倒等の事故に繋がらないように、今後も配慮を重ねて行きたい。

3、経営の継続に努力した。

入居率が低下しないように努力したが、5月に死亡や他施設に移動、長期入院で年間、9名の退園者が出た、新たな入居者の補充に努力したが、早急な入居者獲得は難しかった。入居者は年間、7名であり定員より2名減である。

入居者のADLや生活状況を捉えると現在、職員の人員は国基準より1.5名多いが3月に支援員1名退職後、補充せず、これ以上、減員はできない。

4、 職員の意欲向上と技術力強化に向けた研修を行った。

法人内の研修以外に、熊本県老協主催、熊本県社協主催、熊本市老協主催等の研修に各職種職員を派遣した。職員全体には非常勤職員も含めて、緊急時の対応ができるようにAEDの専門家招聘研修を行った。

スキルアップ研修では毎月、夜の2時間の研修に各部署から参加を促し多くの職員が参加することができた。また、27年度は法人主催の管理者職員研修も開催され主任以上の職員参加を得ることで組織人としての職場全体の力を高め職員が意欲的に職場を活性化、前進するための留意点をご教示いただいた。

5、 地域交流を増やし、老人ホームへの理解を求める。

防災訓練では病院の避難訓練や町内合同の消防署指導による総合防災訓練等に入居者が参加した。職員も地域の消防団員として、また自治会、交通指導員等、地域と連携を図っている。毎月の夕食のお誕生会配食サービスをおこなうことで地域の75歳以上のおひとり暮らしの方々の安否確認・福祉相談等、民生委員のそれぞれの役割、連携も確認しながら行うことができた。

併設のケアハウスでは地域の銀行にてひと月半ほど2月から3月中旬にかけて入居者作品、ロビー展を開催してケアハウスの大きな存在を地域の皆様に知っていただくことができた。作品展をきっかけにご入園相談もあつたり慈愛園の高齢者部門を知りましたとの住民の意見もいただくことができた。今後も要望があれば続けてゆきたい。

[ケアハウス 事業報告]

1、 ケアハウスとして、その方の状態に合わせた生きがいや「夢」を持ってもらえる施設づくり

皆様がいつまでも元気で自分らしい生活のリズムを継続できるよう「介護予防」、「介護保険」とご本人たちの“いつまでも元気で暮らしたい”の気持ちの実現をひとりびとりのニーズに合わせた支援に全員が心掛けて取り組んだ。特に今年度は個別の希望に沿った動きをすることを目標とした。個々の希望を叶えるためには、限られた職員数と多くの業務の中で時間を作り出す努力も必要となり、より効率的な動きをするための努力をしてきた。その結果、入居者への個別対応を実施する時間を生み出すことができ、計画的に一緒に買い物に行ったりする行事も取り入れることができた。次年度は更に

ご本人の希望に即した外出の機会を実施したい。

また、5名のかたが1年間の中で退園を余儀なくされたが家庭復帰を含め、それぞれが、ご本人が望まれる次のステージへと希望を叶えることができた。

2、 介護予防や認知症ケアの充実を図り、職員の専門性を高める。

認知症について非常勤職員も含め、職場研修会にて、どの職員も一定のレベルで取り組めるように養護老人ホーム職員と共に研鑽に努めた。内部研修にて職員間の情報の共有を行うとともに外部研修の参加も積極的にを行い、介護技術や医療的な知識も学びを深め、今後の重度化してゆく現状に対応すべく職員の知識・技術の向上に努めた。

3、 入居者にとっての一番の楽しみである食事の質の向上

厨房が直営であること、食材の仕入れを極力、町内及び地元の業者で行い、冷凍食品を減らしていることで入居者の評判もよい。ただ、昼食の食数が入居者の外出が多く、少ないことから今後、食材の発注の関係から「食の楽しみ」の部分をもより強化しつつ今後の給食について検討を加えてゆきたい。

4、 地域の中の資源の一つとしての地域への周知と交流、ボランティア等の受け入れを積極的に行い。開かれた施設をめざした。

毎年、ボランティアの積極的受け入れを行っている。昨年から引き続きの「話相手」や「レクリエーション」等、入居者との交流を図ってもらっている。

肥後銀行神水支店で行ったケアハウス入居者の作品展示会も地域の方にケアハウスを知って頂く良い機会となった。

5、 ケアハウス改築を行いアメニティーの向上が実現

ケアハウス4階の浴室を現在、男性浴室一部屋で行い対応を図っていて40名定員がすべて個室で想定したら確実に五部屋足りず、今後の入居率も単身者増加の傾向なので本年度少しでも居室の増室を検討して5月～8月4ヶ月にかけて1階に男性浴室、女性浴室をそれぞれ設け4階に新たに3部屋の個室の完成を見ることができた。1階の浴室は入居者全員にとって、とても好評でより快適さの実現となった。

[訪問介護事業所 事業報告]

事業開始より7年が経過し、養護老人ホームの支援員で介護サービスが必要となった利用者にとって顔馴染みの訪問介護員として、日頃の利用者個々の生活のリズムを踏まえた、真に必要な介護サービスを提供するスタイルが今年も有効に機能していた。

これまでと同様に質の高い訪問介護を策定、これをもとに訪問介護員自らが高い専門性と接遇マナーをもってサービスを提供するために内部研鑽を積む一方、外部の介護職員研修にも積極的に参加した。

今年も、主として養護老人ホームの生活を基盤とした中での、常に利用者本位の介護サービスを提供することにより、介護が必要となった利用者の日常生活に安定をもたらすとともに、それぞれの身体状況に応じた自立促進のための支援が出来た。

昨年度と比較して介護サービス提供において実利用人員が年間、延15名減少したものの延べ利用人員としては若干であるが増えている特に起床、就寝介助の増加があげられる。介護サービス提供の回数も年間、延、400回ほど増えている。通所介護、通所リハも増え今後益々、ニーズが高まる傾向にある。

—事業指針実践報告—

- (1) 利用者の意思を尊重した利用者本位の介護サービスを提供した。
- (2) 的確なアセスメントで質の高い介護計画を策定、実施した。
- (3) 定期的な訪問介護計画の見直しを行った。
- (4) 家族との連携を密にし、利用者に関する情報把握に努めた。
- (5) 訪問介護員の積極的研修参加を図り、自己研鑽による専門性の向上に努めた。
- (6) 介護予防訪問介護サービスに即応できる体制に努めた。
- (7) 訪問介護事業所対応ソフト導入による管理業務の効率化を図り合理的かつ円滑なサービス管理に努めた。
- (8) 職員の研修・教育を実施した。

1、事業所内研修（ヘルパー研修）の充実

「介護サービスの情報公表」に基づいた事業所内研修のあり方を検討し養護老人ホーム、ケアハウスの職場研修において共通課題として資質向上に努めた。

＜年間行事活動等＞

開催	名 称	実 施	実 施 状 況
4月	動・植物園見学 互助会総会・演芸会	養護 共通	熊本動・植物園見学 入居者互助会の総会と合同の演芸会
5月	「子供の日」お祝い 春の日帰り旅行 湖東中、応援団演舞披露 動・植物園見学 ケア居室、浴室工事着工	共通 共通 共通 共通 ケア	子供ホーム、ライトハウスへ互助会よりお祝い 恒例の温泉旅行、天草藍の里ホテル利用 運動会のときの応援団の演舞を披露する 動物園、植物園に出かけ春の草花に親しむ 1階男女浴室、4階三部屋居室改修工事着工
6月	神水幼稚園花の日訪問	共通	「花の日」にちなみ園児がお花のプレゼント
7月	七夕飾り 火の国ハイツ温泉旅行 神水教会合同慰霊祭	共通 ケア 共通	七夕に合わせて短冊を作り各ホームに立てる 改築工事が続くので気分転換旅行 過去1年間のお亡くなりの方々の慰霊式
8月	夏祭り	共通	老人ホーム食堂において午後のひととき涼む
9月	敬老お祝い夕食会 敬老お祝い会 18日 紫紺会「飾り馬」来訪 31回「遊友小子老デー」運動会 ケアハウスビヤガーデン	共通 共通 共通 共通 ケア	「敬老の日」にちなみ行事食にてお祝いする 午後のひとときに敬老お祝い会行う。 「藤崎宮大祭」にちなみ飾り馬のお披露目来園 秋の恒例の慈愛園の子どもからお年寄り運動会 4階の食堂において茶話会とビヤガーデン
11月	「感謝祭」園児訪問 外食レクレーション 焼き芋大会 クリスマス点灯式	共通 共通 共通 共通	神水幼稚園園児による感謝祭・収穫祭の訪問 外食メニューで楽しむ 焼き芋の屋台に来ていただき食堂でほおぼる 子どもホームグラウンドにての一斉点灯式
12月	ホームクリスマス サンタクロース訪問 クリスマスキャロリング ルーテルクリスマス訪問 おもちつき	共通 共通 共通 共通 共通	職員の聖歌隊賛美歌と牧師のお話でお祝いする ポーマン牧師の扮するサンタ訪問を楽しむ イブの夜に神水教会より聖歌隊が歌の訪問する ルーテル学院中等部の生徒さんの出し物訪問 入居者と職員でお正月の準備でもちつき行う
1月	年始挨拶・福引大会 新年ゲーム大会	共通 共通	新春の挨拶と福引大会で新年の福を分かち合う 新春恒例のカルタ会やすごろく大会等を実施
2月	節分豆まき 植木市見物	共通 共通	老人ホーム食堂にて豆をまき厄払いをする 恒例の農業公園の植木市を見物する
3月	ひなまつり 資生堂美容教室	共通 共通	食堂やロビーにひな壇飾り行事食を楽しむ 資生堂よりメーキャップの指導で美人スマイル

<趣味・娯楽活動>

サークル名等	実施	回数	実 施 状 況
誕生会	共通	毎月	14時半に当月の誕生者に記念品を渡しお祝いする。
お花	養護	月1回	池の坊流師範、日吉智愛先生のご指導で生け花習う。
ひまわりクラブ	養護	週1回	カレンダー作成や、クリスマスの時期にはモール等も作る。
一日喫茶	養護	月1回	いずみ2階ラウンジで簡単なメニューで喫茶を楽しむ。
朝の集い	共通	毎水曜	朝のひとときに神水教会牧師の説話に傾聴する。
映写会	養護	月1回	日曜日の午後のひととき、時代劇や邦画等を楽しむ。
生き生きクラブ	ケア	月1回	職員指導にて高齢者向けのストレッチ体操を行う。
健康体操	ケア	月1回	ボランティアの指導にて手遊び等の簡単な運動する。
絵手紙	ケア	月2回	千代紙や和紙を活用し水彩画等で絵手紙作成する。
菓子販売	共通	月2回	町のお菓子屋さんの訪問販売で買い物を楽しむ。
衣類販売	共通	年2回	洋装店より衣類の展示即売を行い、お洒落を楽しむ。

<ボランティア・寄贈品等の受け入れ>

グループ名等	対象	実施	活 動 状 況
ベイクドポテト	共通	偶数月	隔月で休業日に来訪し、入居者のカットを無償で提供。
松尾グループ	ケア	月1回	女性グループで月1回の清掃奉仕。男性は年2回、奉仕。
九州動物学院	共通	月1回	数種のおとなしい愛犬を連れてきて動物とふれあう。
ダスキン熊本	共通	12月	年末に日頃、手の届かない箇所を清掃奉仕いただく。
日本たばこ(株)	共通	9月	「敬老の日」にちなみ愛煙家にたばこのプレゼント。
大同青果	養護	12月	新鮮な旬の野菜を市場から沢山、届けてくださる。

[研修会参加状況]

研修会名	開催日	参加職種	研修会名	開催日	参加職種
介護認定審査会	4月15日	施設長	慈愛園管理研修	10月5日	施設長他
新任職員研修会	4月22日	栄養士・事務員	全国山形会議	10月6日	支援員他
マイナンバー研修	5月14日	事務長	ケア相談員研修	10月15日	相談員
市社連総会	5月14日	施設長	会計事務研修	10月27日	事務員
軽費ケア総会	5月28日	施設長	安全推進員研修	10月28日	相談員
熊本市監査説明会	5月18日	施設長	第2回ワークショップ	11月2日	施設長
老施協総会研修	5月26日	施設長	福祉レクレーション研修	11月5日	支援員
老施協施設長研修	6月24日	施設長	モチベーション研修	11月17日	調理員
こすもす荘視察研修	6月26日	栄養士	人の育て方研修	11月19日	相談員他
社会保険研修会	6月10日	事務員	養護職員研修会	11月26日	相談員
市老協総会	6月25日	施設長	ストレスチェック研修会	11月26日	施設長
ストレスケア研修会	6月23日	相談員	苦情解決研修会	11月27日	施設長
養護施設長会議	6月24日	施設長	介護認定研修	11月29日	施設長
市老協総会	6月29日	施設長	老施協総会	11月19日	施設長
介護保険集団指導	6月17日	サ責他	スキルアップ研修会	11月26日	支援員他
老施協総会	7月16日	施設長	ビジネスマナー研修	12月4日	事務員
管理職員研修会	7月10日	施設長他	ヘルパー研修	12月6日	サ責任者
九州社会福祉連合研修会	7月23・24日	支援員	法人管理者研修	12月7日	相談員他
栄養士調理員研修	7月29日	栄養士	リーダー研修	12月9日	支援員
スキルリスク研修	7月23日	相談員他	県研究大会テルサ	1月16日	施設長
権利擁護研修会	7月31日	支援員他	法令関係研修会	2月15日	施設長
養護連絡協議会	8月28日	相談員	会計実務決算研修	2月22日	事務長
共済説明会	8月26日	事務員	ボラ推進研修会	2月5日	施設長
養護連絡協議会	8月24日	支援員	訪問看護研修	2月23日	サ責任者
労務研修会	9月15日	事務員	県老施協総会	3月14日	施設長
スキル・リスク研修会	9月24日	支援員他	法人管理者研修会	3月23日	施設長他

[施設整備・修繕および固定資産物品の取得]

* 施設整備・修繕

施設	施設整備・修繕内容	金額	備考
老人ホーム	ドアスイッチ巴商会	60,264円	
〃	洗濯機移設	8,640	
〃	エアコン洗浄	8,640	
ケアハウス	排水ホース交換	2,160	
	合計	79,704	
※ 建物取得			
ケアハウス	居室及び浴室改修工事	40,752,000円	
	合計	40,752,000	

* 固定資産物品の取得

施設	固定資産物品名	金額	備考
老人ホーム	自動体外式除細動器	259,000円	
〃	日産バネット(車椅子対応)車	2,275,882	
〃	ホンダ軽自動車(車椅子対応)	1,472,180	
	合計	4,007,062	

訪問介護事業所 年間実績

(1) 介護サービス提供の内容

区分・ 月	実利用 人員	介助 起床	介助 就寝	食事 朝食	食事 昼食	食事 夕食	入浴週3・ 60分	入浴週3・ 30分	延利用 人員
4月	13	2	3	2	2	2	7	4	22
5	13	2	3	2	2	2	7	4	22
6	12	2	3	2	2	2	6	4	22
7	13	2	3	2	2	2	7	3	22
8	12	2	3	2	2	2	7	3	21
9	11	2	3	1	1	1	7	3	19
10	10	2	3	1	1	1	6	3	17
11	9	2	3	1	1	1	6	2	16
12	9	2	3	1	1	1	6	2	16
1	9	2	3	1	1	1	6	2	16
2	9	2	2	2	2	2	7	1	18
3	9	2	2	2	2	2	7	1	18
延計	129	24	34	19	19	19	79	32	229

(2) 介護サービスの提供の回数

区分・ 月	ヘルパー 実人員	介助 起床	介助 就寝	食事 朝食	食事 昼食	食事 夕食	入浴週 3・60分	入浴週3・ 30分	提供 回数	単位数合計
4月	9	60	90	60	60	60	90	52	472	133498
5	9	62	93	61	62	62	82	52	474	133233
6	8	60	90	60	60	60	78	42	453	127488
7	9	62	93	62	62	62	94	41	478	135828
8	8	62	93	55	54	54	91	39	448	128073
9	9	60	90	30	30	30	85	39	365	106316
10	9	62	93	31	31	31	81	39	368	123728
11	9	60	90	30	30	30	75	25	340	99183
12	9	62	93	31	31	31	81	27	356	104041
1	9	62	93	31	31	31	78	26	352	102711
2	9	58	58	58	58	58	88	12	390	112161
3	9	62	62	62	62	62	94	14	418	120144
延計		732	1038	571	571	571	1017	408	4914	1426404

(3) 介護度別利用状況

平成28年3月現在

区分 要介護度	利用 実人員	介助 起床	介助 就寝	食事 朝食	食事 昼食	食事 夕食	入浴週 3・60分	入浴週 3・30分	延利 用数	通所 介護リハ
5	0								0	
4	1			1	1	1		1	4	
3	3	2	2	1	1	1	2		9	1
2	0								0	4
1	6						5		5	4
支援2	0								0	
支援1	0								0	4
延計	9	2	2	2	2	2	7	1	18	13

老人ホーム

(1) 年齢別・性別の状況

平成28年3月31日現在

年齢・性別	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~	合計	平均
男		3	4	7	2	2				18	78.1
女		4	5	4	18	2	15	2		50	84.7
計		7	9	11	20	4	15	2		68	82.7

(2) 在籍期間の状況

平成28年3月31日現在

期間・性別	1年未満	1~3年	3~5年	5~10年	10~15	15~20	20~25	25~30	30以上	合計	平均
男	5	2	5	4	1	1				18	5年0
女	6	15	12	8	4	4			1	50	4年1
計	11	17	17	12	5	5			1	68	5年3

(3) 要介護度の状況

平成28年3月31日現在

自立	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
28	11	8	10	5	5	1		68

ケアハウス

(1) 年齢別・性別の状況

年齢・性別	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~	合計	平均
男			2		1	2				5	81.1
女		1	1	4	10	11	5	2		34	83.9
計		1	3	4	11	13	5	2		39	83.0

(2) 在籍期間の状況

期間・性別	1年未満	1～3年	3～5年	5～10年	10～15	15～20	20～25	25～30	30以上	合計	平均
男	2	1	1	1		1				5	5年1
女	5	12	3	10		3				34	4年2
計	7	13	4	11		4				39	4年5

(3) 要介護度の状況

自立	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
20	3	7	8	1				39

(4) 入院者数について H27.4.1～28.3.31 老人ホーム

内科	外科	呼吸器科	循環器科	精神科	その他
28	15	5	1	5	

ケアハウス

内科	外科	呼吸器科	循環器科	精神科	
18	6	1	1	0	

(5) 税額等の階層区分 老人ホーム

生保被保護	非課税世帯	課税均等割	課税所得割	所得課税世帯	合計
14	54				68

ケアハウス

生保被保護	非課税世帯	課税均等割	課税所得割	所得税世帯	合計
0	32	7			39

(6) 入居者の入居前の居場所 老人ホーム

自宅	子供・親族	病院	精神科HP	ケアハウス	有料ホーム	サ高住	救護施設	合計
28	20	9	6	0			5	68

ケアハウス

自宅	子供・親族	病院	養護老人	ケアハウス	有料ホーム	サ高住	その他	合計
29	7		1	1			1	39

(7) 退所者について H27.4.1～28.3.31 老人ホーム

在宅復帰	他施設	老健施設	一般医療	精神入院	施設死亡	入院先死亡	合計
	2		3			4	9

ケアハウス

在宅復帰	老人施設	老健施設	一般医療	精神入院	施設死亡	入院先死亡	合計
1	3		1				5